

エコアクション 21

環境経営レポート

対象期間

2023年12月1日～2024年11月30日

発行日 2025年 3月28日

改訂日 2025年 4月20日

有限会社 岡田商店

環境経営レポート体系

1

I. 組織概要	2
1. 組織	
2. 事業	
3. 処理量	3
4. 処理工程図	
5. 収集運搬車両の種類	
6. 許可関係	4～5
II. 実施体制	6
III. 環境経営方針	7
IV. 環境経営中期目標	8
V. 環境経営計画	9
VI. 実績	10
VII. 環境活動の取組み結果	11
VIII. 環境関連順法性評価	12
IX. 代表者による全体の評価と見直し	13

I. 組織概要

1. 組織

名 称：有限会社 岡田商店

設 立：2000 年 12 月 12 月

代表者：取締役（代表）岡田政啓

所在地：〒454-0977

名古屋市中川区千音寺4丁目903番地

資本金： 300 万円

従業員数： 5 人

売上高： 14,805 万円 2024 年 11 月決算

事業活動の内容：一般廃棄物の収集運搬業

産業廃棄物の収集運搬業

産業廃棄物の中間処理業

連絡担当者：岡田政啓

連絡先 TEL 052-433-0386 FAX 052-433-0387

E-Mail okada1514@poem.ocn.ne.jp

2. 事業

全組織・全活動をエコアクション 21 の対象としています。

本社	名古屋市中川区千音寺4丁目903番地	
吉津リサイクルセンター	名古屋市中川区吉津1-2111 (積替え保管の種類) 廃プラ、金属くず、ガラスくず及び陶磁器 くず、木くず、紙くず、廃油、繊維くず	敷地 473.0 m ² 工場 256.4 m ²

本社は、登記上自宅を本社としているが、書類上だけで実際の仕事は、すべて吉津リサイクルセンターで実施しているので、本社のエネルギー、水等の環境データは除外します。

3. 廃棄物処理量 24 期分 (2023 年 12 月 1 日～2024 年 11 月 30 日)

再生資源の購買量 金属 252.78 t

一般廃棄物収集運搬量 79.98 t (焼却 18.44 + 古紙 12.33 + その他 49.21)

産業廃棄物収集運搬量 293.52 t

産業廃棄物中間処理量 226.31 t

中間処理方式 破砕・圧縮・圧縮分離・選別

中間処理能力 ・破砕 廃プラスチック類 2.88t/日 (8 時間)

・圧縮 ①廃プラスチック類 4.3t/日 (8 時間) ②紙くず 4.44t/日 (8 時間)

③木くず 7.99t/日 (8 時間) ④繊維くず 6.22t/日 (8 時間)

⑤金属くず 4.87t/日 (8 時間)

・圧縮分離 1.95 t/日 (8 時間)

・選別 廃プラスチック類、金属くず、ガラスくず及び陶磁器くず

34.9 m³/日 (8 時間)

4. 処理工程図

受 入 れ	収集運搬	中間処理	資源化	外 部 委 託	最終
	廃プラ	破砕、圧縮、選別			埋立処分（一部原料化）
	ガラス・陶磁器 くず	選別			埋立処分
	木くず	圧縮			燃料化
	繊維くず	圧縮			埋立処分
	紙くず	圧縮	売却		再生資源化
	金属くず	圧縮、選別、圧縮・分離	売却		再生資源化
	廃油	圧縮・分離	売却		再生資源化
	汚泥				埋立処分
	揮発性廃油				焼却処分
	ゴムくず				埋立処分
	動植物性残さ				焼却処分
	がれき類				埋立処分
	建設混合廃棄物				埋立処分



枠内が当店の事業範囲

5. 収集運搬車両の種類

塵芥車	脱着装置付 コンテナ専用車	軽トラ	キャブオーバー	箱車	合計
3 台	2 台	1 台	3 台	3 台	12 台

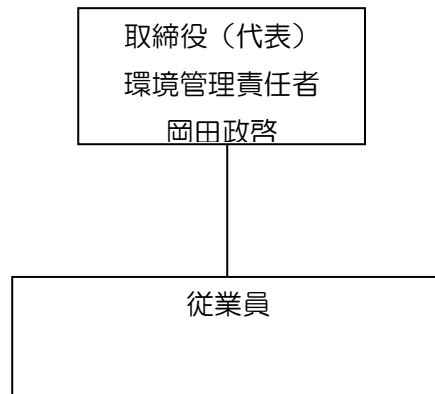
6. 許可関係

	許可及び登録の内容	許可登録番号	許可年月日	許可の期限
愛知県	産業廃棄物収集運搬業 燃え殻、汚泥、廃油、廃プラスチック類、(自動車等破砕物を除く。石綿含有産業廃棄物を含む。)、紙くず、木くず、繊維くず、動植物性残さ、ゴムくず、金属くず(自動車等破砕物を除く。) ガラスくず・コンクリートくず(工作物の新築、改築又は除去に伴って生じたものを除く。)及び陶磁器くず(自動車等破砕物を除く。石綿含有産業廃棄物を含む。)、がれき類(石綿含有産業廃棄物を含む。) 以上12品目積替え許可無し(水銀使用製品産業廃棄物を含む)	第02300098759号	R4. 10. 31	R9. 10. 30
岐阜県	産業廃棄物収集運搬業 燃え殻、汚泥、紙くず、木くず、繊維くず、ゴムくず、金属くず 以上7品目(水銀使用製品産業廃棄物を含む)は石綿含有産業廃棄物であるものを除く。 廃プラスチック類、ガラスくず・コンクリートくず(工作物の新築、改築又は除去に伴って生じたものを除く。)及び陶磁器くず、がれき類 積替え許可なし 以上3品目は石綿含有産業廃棄物であるものを除く。	02100098759	R4. 10. 23	R9. 10. 22
三重県	産業廃棄物収集運搬業 汚泥、廃油、廃プラスチック類、(石綿含有産業廃棄物を含む。)、紙くず、木くず、繊維くず、ゴムくず、金属くず、ガラスくず等(石綿含有産業廃棄物を含む。)、がれき類(石綿含有産業廃棄物を含む。)以上10種類(水銀使用製品産業廃棄物を含む) ※ガラスくず等とは、「ガラスくず・コンクリートくず(工作物の新築、改築又は除去に伴って生じたものを除く。)及び陶磁器くず」をいう。積替え許可無し	第02400098759号	R6. 2. 22	R11. 2. 6
愛知県	特別管理産業廃棄物収集運搬業 積替え保管を除く 引火性廃油、腐食性廃酸、特定有害廃石綿等の3品目	第02350098759号	R7. 3. 1	R12. 2. 28
津島市	一般廃棄物収集運搬業	05津島生環第322号	R6. 4. 1	R8. 3. 31
一宮市	一般廃棄物収集運搬業	一宮市環廃第106号	R6. 4. 1	R8. 3. 31

弥富市	一般廃棄物収集運搬業	31 弥環第 14 号	R5. 5. 11	R7. 5. 21
大治町	一般廃棄物収集運搬業	7 指令大廃棄第 9-7 号	R7. 4. 1	R9. 3. 31
清須市	一般廃棄物収集運搬業	第 2024-9 号	R6. 4. 1	R8. 3. 31
名古屋市	産業廃棄物処分業（1 日 8 時間とする） 中間処理（破砕）廃プラスチック類 処理能力 2.88 t / 日 中間処理（縦型圧縮） 廃プラスチック類 処理能力 1.92 t / 日 金属くず 処理能力 2.88 t / 日 中間処理（横型圧縮） 廃プラスチック類 処理能力 4.30 t / 日 金属くず 処理能力 4.87 t / 日 紙くず 処理能力 4.44 t / 日 木くず 処理能力 7.99 t / 日 繊維くず 処理能力 6.22 t / 日 中間処理（圧縮分離） 廃油、廃プラスチック類、金属くず 処理能力 1.95 t / 日 中間処理（選別） 廃プラスチック類、金属くず、ガラスくず及び陶磁器くず 処理能力 34.9 m ³ / 日	06420098759	R6. 12. 1	R11. 11. 30
名古屋市	産業廃棄物収集運搬業（積替・保管） ① 積替え・保管を含まず 以下 7 種類 燃え殻、汚泥、廃プラスチック類（石綿含有産業廃棄物を含む）、 動植物性残さ、ゴムくず、ガラスくず及び陶磁器くず（石綿含有 産業廃棄物を含む）、がれき類（石綿含有産業廃棄物を含む） ② 積替え・保管を含む 廃油、廃プラスチック類（石綿含有産業廃棄物を除く）、紙くず、 木くず、繊維くず、金属くず、ガラスくず及び陶磁器くず（石綿 含有産業廃棄物を除く）以上 7 種類 積み替え保管量 保管面積 7.12 m ² 保管上限量 11.6 m ³	06410098759	R4. 10. 1	R9. 9. 30
愛知県	廃棄物再生事業者登録 古紙、金属くずの再生	第 2313001	H25. 3. 29	——

Ⅱ. 実施体制

1. エコアクション21の取組体制



4) 環境経営システムの役割と責任

代表者	・環境経営に関する統括責任 ・環境経営方針の策定 ・環境経営目標及び環境経営計画の承認 ・環境管理責任者の任命、環境活動に必要な資源の確保 ・環境経営システム全体の評価及び見直し ・環境経営計画書兼管理表の承認
環境管理責任者	・環境経営システムの構築及び運用管理 ・環境活動の取組結果を経営責任者へ報告 ・環境経営計画書兼管理表の作成 ・外部からの苦情・要望対応責任 ・環境活動レポート案の作成
全従業員	・環境経営方針、環境経営目標を理解し、環境への取り組みの重要性を自覚 ・自主的、積極的に環境活動へ参加

Ⅲ. 環境経営方針

有限会社 岡田商店 環境経営方針

当社は廃棄物の収集運搬事業及びリサイクル活動を通じ、持続可能な循環型社会の形成、維持に貢献する。

＊当社は環境マネジメントシステムを構築し、その運用や有効性を監査しレビューすることにより、これの継続的改善を図る。

＊当社に適用される環境法規制及び当社が同意するその他の要求事項を遵守する。

＊当社が持つ廃棄物処理に関する技術や情報を活用し、持続可能な循環型社会の形成に必要な廃棄物の適正処理とリサイクルを推進する。

＊当社は資源の節約やリサイクル、二酸化炭素排出量の削減、各種グリーングッズを使用することで省資源化を推進する。

＊当社が保有する各種設備や設備の管理充実を図り、公害防止を含む環境汚染の防止に努める。

＊当社の社員には、環境ボランティア活動への参加を推奨する。

この環境経営方針は、当社の全ての従業員に適用すると共に、一般の人々が入手可能な管理を行うものとする。

制定日 2014年11月20日
有限会社 岡田商店
取締役（代表） 岡田政啓

IV. 環境経営中期目標

有限会社岡田商店 環境経営目標

事業年度：12月～翌年11月

2024年度を基準にして毎年1%ずつ削減する。

項目	単位	2024年度 実績	2025年度 目標	2026年度 目標	2027年度 目標	2028年度 目標
1. 電力 使用量削減	kWh	4,517	4,472	4,427	4,381	4,336
		基準	- 1%	- 2%	- 3%	- 4%
2. ガソリン 使用量削減	L	3,325	3,292	3,259	3,225	3,192
		基準	-1%	-2%	-3%	-4%
3. 軽油 使用量削減	L	12,035	11,915	11,794	11,674	11,554
		基準	-1%	-2%	-3%	-4%
4. 灯油 使用量削減	L	0				
5. 二酸化炭素 排出量削減*2	kg-CO2	41,230	40,818	40,405	39,993	39,581
		基準	-1%	-2%	-3%	-4%
6. 一般廃棄物 排出量削減	Kg	28.2	27.9	27.6	27.4	26.9
		基準	-1%	-2%	-3%	-4%
7. 水 使用量削減	m ³	98	97	96	95	94
		基準	-1%	-2%	-3%	-4%
8. グリーン-購入 品目の向上	品数	3	3	3	3	3
9. 地域貢献活動 (道路清掃活動)	毎日 (回)	1	1	1	1	1
10. 古紙資源化率 *1	100%	100%	100%	100%	100%	100%
		基準	100%	100%	100%	100%

二酸化炭素調整後排出係数 0.472 kg-CO2/kwh(2017年度中部電力㈱)実績値を使用)

*1：古紙は100%リサイクルしています。

*2：化学物質については、PRTR法に該当する物の取り扱いはありません。

*3：灯油は現在使用していないので、数値は管理しますが目標に定めていません。

V. 環境経営計画

環境経営計画

取組項目	具体的活動内容
1. 電力使用量の削減	・ 照明器具は、不要な点灯をなくし、昼休み等には消灯する。 ・ 社員退社後、不要な照明を消灯する。 ・ P C の省電力モードを有効に利用し使用後は電源を切る。 ・ エアコンの設定温度は、冷房 28℃±1℃、暖房 21℃±1℃とする。 ・ 定期的な空調フィルター等の清掃
2. 燃料使用量の削減	・ 回収ルートを見直して経済速度で走る。 ・ 点検整備をし、車輛を維持する。 ・ 定期的に空気圧チェックをする。 ・ 重機等の無用なアイドリングをやめる。 ・ 重機の点検整備
3. 二酸化炭素排出量の削減	・ 上記1～2の活動による。
4. 一般廃棄物排出量の削減	・ 廃棄物の分別を徹底し、資源化する。 ・ 事務所内に分別ボックスを設置する。
5. 水使用量の削減	・ 節水の掲示を行う。 ・ トラックの洗車に雨水の利用をする。 ・ 作業着の洗濯は、出来るだけ2層式を使う。
6. グリーン購入率の向上	・ エコマーク品・グリーンマーク品の優先購入 ・ 購入記録を付ける。
7. 地域貢献活動	・ 工場周辺の道路を清掃する。(毎日)
8. 古紙資源化率	・ 100%資源化するため、代表者が毎日確認する。
9. 資源（鉄くず）	・ 毎月の収集運搬量をチェック

VI. 実績と評価

実績と評価

取組み期間 2023 年 12 月 1 日～2024 年 11 月 30 日（2024 年度） 基準は 2023 年度実績

項 目	単位	基準 目標（実数）	削減率 実績（実数）	目標達成率 （％）*3	評価
1. 電力 使用量削減	KWh	4,086	- 1 %		
	KWh	4,045	4,517	89.6	未達成
2. ガソリン 使用量削減	L	3,469	- 1 %		
	L	3,434	3,325	103.3	達成
3. 軽油 使用量削減	L	12,046	- 1 %		
	L	11,926	12,035	99.1	未達成
4. 二酸化炭素 排出量削減*2	kg-CO2	41,054	- 1 %		
	kg-CO2	40,643	41,230	98.6	未達成
5. 一般廃棄物 排出量削減	Kg	11.0	- 1 %		
	Kg	10.9	28.2	38.7	未達成
6. 水 使用量削減	m ³	95	- 1 %		
	m ³	94	98	95.9	未達成
7. グリーン購入率の向上	品数	3 品目	3 品目	100.0	達成
8. 地域貢献活動（道路清掃活動）	回（毎日）	1	1	100.0	達成
9. 古紙資源化率*1	100%	100%	100%	100	達成

二酸化炭素調整後排出係数 0.472 kg-CO2/kwh（2018 年度中部電力㈱）を使用

*1：古紙資源化は、責任者が自ら確認する。

*2：1～9 の目標達成率は、目標／実績×100 で算出する。

VII. 環境活動の取組みの評価と今後の対応

環境経営目標の達成状況および環境経営計画の実施状況の評価 および未達成の場合の今後の今年度の取組み

環境経営目標項目	達成状況	環境経営計画実施状況 達成・未達成の要因	今後の今年度環境経営計画への追加・変更
1. 電力使用量の削減	未達成	猛暑によるエアコン等の長時間使用が原因	温暖化による朝夕の勤務時間の調整が必要か。
2. ガソリン使用量の削減	達成	定期的な運行で、使用量の安定ができた様子。	車両のより効率的な利用を勘案して、エコドライブ継続運用
3. 軽油使用量の削減	未達成	夏場の車両内待機等の休みが増えた。	車両の効率的な利用を推進ルート回収等の改善、エコドライブ継続運用
4. 灯油使用量の削減	——	現在使用していません	数値の管理は継続していますが、目標にしています。
5. 二酸化炭素排出量削減	未達成	車両の気候対策による使用が、一因でもある。	車両積載重量を考慮して、運搬回数の効率化を検討する
6. 一般廃棄物排出量の削減	未達成	工場内勤業務と事務業務が増えた。	包装食品をなるべく避けて購入する。
7. 水使用量削減	未達成	作業着の洗濯回数が増えた。	洗車・道路散水も雨水等の利用をする
8. グリーン購入率の向上	達成	トイレットペーパー、コピー用紙、ノートの再生紙利用による。	PC インク等の使用も考える。
9. 地域貢献活動 (道路清掃活動)	達成	毎日周辺道路の清掃	・毎日実施
10. 古紙資源化率	達成	名古屋再生資源協同組合員として日々資源化の徹底による。	・徹底的な分別

VIII. 環境関連順法性評価

環境関連法の順守状況

環境関連法規等遵守評価表

作成・評価日：2024 年 4 月 25 日

作成者及び遵守評価者：岡田政啓

適用法規	該当設備施設	法規の要求事項	評価結果
廃棄物処理及び清掃に関する法律	[排出事業者として] ・一般廃棄物 (紙ごみ) ・産業廃棄物 (汚泥) [収集運搬事業者として] ・産業廃棄物 [処分事業者として] ・産業廃棄物	保管場所表示、保管基準の順守	○
		運搬・処分業者との委託契約	○
		マニフェストの交付・回収	○
		マニフェスト交付状況の報告	○
		自社運搬の場合運搬車両への表示、マニフェスト携帯	○
		収集運搬業許可証の更新	○
		処分業許可証の更新	○
		排出事業者との契約	○
		運搬車両への表示、マニフェスト、許可証の携帯	○
名古屋市産業廃棄物等の適正な処理及び資源化の排出業者として、促進に関する条例 消防法届け・指定可燃物	設置場所 名古屋市中川区吉津1-2111	産業廃棄物の運搬・処分業者の定期的な確認	○
		市外産業廃棄物処分の届出等	○
		環境保全に移管する近隣関係との協議	○
		油漏れ対策として吸着マットの設置 所轄官庁への連絡等	○
市民の健康と安全を確保する環境保全に関する条例	排出業者として	アイドリングストップ	○

リサイクル法	パソコン	長期使用、再生資源の努力義務、適正処理	—
家電リサイクル法	テレビ・エアコン・冷蔵庫 洗濯機	買換時リサイクル料負担、適正処理	—
自動車リサイクル法	塵芥車台・ダンプ車台	車検又は買換時リサイクル料負担、適正処理	—
フロンガス排出抑制法	エアコン	回収・運搬・破壊に要する料金の支払い、適正処理	—
		委託確認書、引取証明書の保存(3 年間)	○
道路運送車両法	運送車両	車検	○
自動車 NO _x -PM 法	塵芥車台・ダンプ車台	車検時検査	○

[環境関連法規への違反、訴訟等の有無]

環境関連法規に対する遵守状況は、確認・調査したところ、違反はなく、全て遵守しております。

また、訴訟、関係当局よりの違反等の指摘は、3 年間ありません。

IX. 代表者による全体の評価と見直し

有限会社岡田商店は、創業以来業界をリードし、今日の持続可能な循環型社会の一翼を担っています。

弊社が持つあらゆる廃棄物のリサイクル技術で、私たちを取り巻くローカル環境はもとより、皆様の地域での環境負荷を低減すべく、日々努力をしております。本年度も昨年同様に廃棄物のより徹底的な分別作業を行い、環境負荷を少なくする為に廃棄物のリサイクル化を推進しました。次年度も、廃棄物のより一層の資源化に努めて、低炭素活動をはじめ、私たちの活動パフォーマンスをさらに向上させ、地球規模での環境負荷低減をテーマとし全社一丸として貢献して参ります。

環境管理システムは見直しましたが環境方針等の変更はありません。

2025年4月20日

有限会社 岡田商店 取締役（代表）

岡田政啓